

いんすいしげん 飲水思源

町長 松岡市郎

人口8千人達成に思う

もう師走の時期を迎えた。1年が過ぎゆくのは実に早いものだ。一方、東京で電車を待つ数分間という時間が実に長く感じるの不思議なものである。これも年を重ねたことが原因か、と勝手に思っている。

さて年を重ねるといえば、今年東川町は開拓120年の年となっている。おめでたいことが多数あるが、その一つに、ここ10数年間町の人口が年を重ねるごとに微増し、悲願の8千人を突破したことが挙げられる。昭和47年6月以来である。

ところで、平成20年度に策定したまちづくり計画では、平成29年度の目標人口を8千人として定めていた。平成24年1月に国立社会保障・人口問題研究所が推計・公表した東川町の2015年(平成27年)人口は、7千463人と示されていた。そのため今日まで、「国が人口減少を示しているのに町の人口が増えるはずはない」と厳しい意見もいただいていたのである。

しかしながら、この推計は何の施策も展開せずに黙って推移を見守っている場合の数値である。つまり「守株」の考え

方によるものなのだ。

行政は住民福祉向上を図る役割を担っており、人口減少というマイナス要素が将来にわたって推計されるのであれば、それをプラス方向に変える努力をし、町の魅力を増進することが大きな使命でもある。そのために、住民も行政も持続可能で魅力のある町づくりに向かって一体となって取り組んでいる。

全国的に人口が減少する中で、微増であっても人口が増える町村は珍しい、と今注目され始めている。目標を達成した要因は一つではなく、いくつもの要因が複合的に重なっているものと考えている。それは「おいしい水、うまい空気、豊かな大地」に集約できる自然と文化環境の良さ、旭川空港や旭川市、大雪山などが近接する地理的環境の良さである。そして何ととっても住民の「Wa(わ)」が一番である。

「会話があり、融和があり、信頼の輪がある」という3つの「話、和、輪」が人々をつないでいるのだと思う。これからも「Wa」を大切にし、人口8千人以上を持続できる町であってほしいものである。

土砂災害から命を守る(一般書)

池谷浩:著 五月書房:刊



今年8月に集中豪雨の大規模な被害をもたらしたことは記憶に新しい。今だに発生予測ができない土砂災害だが、最新の研究や技術を基に、土砂災害から人命を助ける方法が次第に明らかになってきている。土砂災害から命を守るための正しい知識と最新の情報を、防災研究の第一人者が住民の視点に立って分かりやすく教える。

アナと雪の女王(アニメDVD)

発売元:ウォルト・ディズニー・ジャパン



エルサとアナは王家の姉妹。さわったものを凍らせてしまう秘められた力を持つエルサは、自分の“禁断の力”を制御できず、真夏の王国を冬にしてしまった。凍りついた世界と姉を救うため、アナは山男のクリストフやトナカイのスヴェン、ゆきだるまのオラフと共にエルサのあとを追って雪山へ向かう。圧巻の歌と映像で(真実の愛)を描いた感動の物語。(102分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館
☎82-4245

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★
1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>



はちかづきひめ(絵本)

長谷川摂子:再話 中井智子:絵 福音館書店:刊



子どものない夫婦が毎日観音様をお願いをして授かった女の子。でも観音様との約束で、娘が幸せになるためにずっと頭に鉢をかぶせていなければなりません。母親が亡くなり継母が来ると、娘は冷たい仕打ちを受け追い出されてしまいます。娘は鉢をかぶったまま放浪の旅をすることに…。日本画で描いている御伽噺(おとぎばなし)をお楽しみください。